



<PRESS RELEASE>

2012年4月2日

日本唯一の FIFA 公認 U-12 国際サッカー大会
ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会
“レジスタ FC”(埼玉県)が初優勝！夢の舞台へ！！

9月にポーランドで開催される世界大会に“日本代表チーム”として挑戦！
～最も印象に残るチームに贈られる“ダノン・ド・オール賞”には「塩釜 FC」(宮城県)が輝く！！

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」(特別協賛:ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社)は、3月31日(土)、4月1日(日)の2日間に渡り、東京都世田谷区の駒沢オリンピック公園総合運動場において、決勝大会を開催しました。その結果、「レジスタ FC」(埼玉県)が見事優勝し、9月にポーランドで開催される世界大会という、“夢の舞台”へ日本代表チームとして出場することが決定いたしました。※大会当日の詳細は次頁をご参照下さい。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会」では、全4会場で行われた各会場予選の代表14チームと昨年決勝大会のベスト18チームの32チームが2日間に渡り、予選グループリーグ、決勝トーナメント、各順位決定戦と“世界大会”への出場権をかけたハイレベルな試合を繰り広げました。参加選手全員の投票により、フェアプレーなど大会を通して“最も印象に残るチーム”に贈られる「ダノン・ド・オール賞」には、特別予選 in 宮城を経て出場した「塩釜 FC」が輝きました。また、2日目の午後には、大会アンバサダーである“北澤豪さん”、イタリア・セリエAのインテルミラノで活躍する長友佑都選手の母“長友りえさん”、Jリーグ・FC東京の栄養アドバイザー久保田尚子さんによる「食育トークショー」も開催され、参加選手だけでなく、選手の保護者、一般の方々も大いに盛り上がりました。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」では、単に勝ち負けにこだわるだけでなく、サッカーを通して他チームとの交流や、フェアプレイ精神、チームワークなど、健全な心身を育てる場であるという大会趣旨の下、今年から敗退したチームは勝利したチームに対して、自チームのチーム/メンバー名が書かれたリボンを手渡しております。これは、勝利したチームが敗退したチームの“想い”を受けとめ、一緒に先のステージへ進むための試みとなります。そして、本決勝大会に優勝し、日本代表となったレジスタ FC は出場全チームのリボンが結び付けられた大会フラッグを持って世界大会に挑むことで、「参加全選手の想い」と一緒に世界の舞台で戦うこととなります。

世界大会である「ダノンネーションズカップ」は、U-12 世代の“世界一”を決める FIFA 公認国際サッカー大会で、各国の国内予選を勝ち抜いてきた代表チームによるハイレベルな試合が行われます。今年は「ポーランド」で、9月7日(金)～9日(日)の3日間、世界40カ国の各国代表が参加して行われます。日本の U-12 世代を代表して、この夢の舞台に挑戦するレジスタ FC の活躍に是非ご期待下さい。

※訂正とお詫び

3月26日付けにてお送りいたしましたプレスリリース「東京会場予選結果」に誤りがございました。お詫びして訂正をさせていただきます。4頁、予選決勝進出チーム決定戦「横河武蔵野フットボールジュニア対 FC トッカーノ」の試合結果は「1対0(勝者:横河武蔵野フットボールジュニア)」ではなく、正しくは「2対0(勝者:横河武蔵野フットボールジュニア)」になります。

<本件に関するお問い合わせ>

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN PR 事務局
担当 株式会社フルハウス 山下・佐野

Tel:03-5413-0293 Fax:03-3401-8085 E-mail s.yamashita@fullhouse.jp



「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会」レポート

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」の決勝大会最終日が4月1日(日)に駒沢オリンピック公園総合運動場で行われ、決勝戦でレジスタFC(埼玉)が2-0でセレッソ大阪 U-12(大阪)に勝ち、初優勝を飾った。日本代表として9月にポーランドで開催される世界大会に出場する。

愛知会場予選を勝ち抜いて決勝大会に出場したレジスタFCは、準々決勝で川崎フロンターレ U-12(神奈川)を2-1の逆転で下して5連覇を阻止。準決勝ではファナティコス(群馬)に4-0で完勝し、Jクラブやシードチームなど次々と撃破。決勝戦は拮抗した展開で進み、得点生まれなまま前半が終了。しかし、後半にレジスタFCが吉岡直輝君のゴールで先制し、終了間際にも伊藤颯君が追加点を挙げて勝利を引き寄せた。渡辺泰明監督は「ほかの大会も勝って勢いはあったけど、本当にここまで勝つとは思わなかった。今年は例年以上にチームワークが良い。実力にプラスアルファの部分が昨年よりあったのかもしれない」と教え子たちの快挙に驚いた。主将の伊藤君は「相手に押される部分もあったけど、強い気持ちで臨みました。2点目を取れたときはスッキリしました。世界大会では、外国のチームや選手がどんなサッカーをするのか味わってきたいと思います」と喜びを語った。また身長130センチと小柄ながら最前線でスピードと技術を駆使した突破を繰り返した榊原慧悟君(レジスタFC)が大会MVPに選出された。ほかにベスト8、MIPの2名、通算12点で得点王になった横江祐樹君(コスモサッカークラブ川越)が表彰を受けた。

最終日は天候に恵まれたが、前日に行われた大会第1日は雨混じりの強風に見舞われ、急きょ「試合時間10分でエンドを交代する」(通常はエンド交代なしの20分1本勝負)という特別ルールを採用するアクシデントもあった。しかし、その中でも子どもたちの笑顔と健闘は絶えず、東北特別予選を勝ち抜いた塩釜FC、多賀城フットボールクラブの選手も元気な姿を見せていた。その姿は、他チームの選手に感銘を与え、塩釜FCは、勝敗ではなくフェアプレーなどの面で印象に残ったチームを参加選手が選ぶ「ダノン・オール賞」を受賞した。また、大会中は試合以外にも多くのイベントが行われ、最終日には日本代表DF長友佑都選手(インテル)の活躍から学ぶ「食育トークショー」が開催された。2部構成で午後の部には長友選手の母・リエさん、長友選手が所属していたFC東京の栄養アドバイザー久保田尚子さん、大会アンバサダーの北澤豪さんが出演。長友リエさんは「夢は子どもが得意な分野の中で持っている物。親がしつけるものではないので見守ることが大事。人生は夢を持って挫折をしながらも強くなっていくもの。どんどん夢を追いかけてほしい」とサッカー少年たちの親子にエールを送った。

大会期間中は、地元の近いチームや対戦相手同士で子どもたちが積極的に交流の輪を広げていた。「勝った?」、「頑張れよ」と声をかけ合う姿があちらこちらで見受けられ、閉会式が終わってからも世界大会に出場するレジスタFCの選手に「頑張ってきてよ」と声をかける他チームの選手の姿があり、仲間意識も強まった大会となった。大会を通じてさまざまな刺激を受け合った彼らの将来が楽しみだ。そして、今年9月仲間たちの思いを胸に刻み、レジスタFCが世界へ羽ばたく。



「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会」 最終順位・表彰

■最終順位

優勝	レジスタ FC
準優勝	セレッソ大阪 U-12
第3位	ファナティコス
第4位	鹿島アントラーズジュニア
第5位	名古屋グランパス U12
第6位	横河武蔵野フットボールクラブジュニア
第7位	川崎フロンターレ U-12
第8位	アスペガス生駒フットボールクラブ
第9位	ヴィッセル神戸 U-12
第10位	横浜 F・マリノスプライマリー
第11位	コスモサッカークラブ川越
第12位	バディーSC
第13位	東京ヴェルディ
第14位	三菱養和サッカークラブ巣鴨ジュニア
第15位	鹿島アントラーズつくばジュニア

■個人賞

●MVP	榊原慧悟(レジスタ FC)
●得点王	横江祐樹(コスモサッカークラブ川越) ※12 得点
●ベスト GK	ハンドンジュン(川崎フロンターレ U-12)
●ベスト FP	西見斗輝(大宮アルディージャ ジュニア)
	岸本駿朔(レジスタ FC)
	沼田皇海(鹿島アントラーズジュニア)
	山本侑也(アスペガス生駒フットボールクラブ)
	椿直起(横河武蔵野フットボールクラブジュニア)
	瀬古歩夢(セレッソ大阪 U-12)
	谷本駿介(セレッソ大阪 U-12)
●MIP	十川ゆき(STAYCOOL FC)
	近藤亮那(大阪セントラル FC)

■「ダノン・ド・オール賞」 塩釜 FC

※「ダノン・ド・オール賞」とは

「ダノン・ド・オール賞」とは、試合の勝ち負けではなく、フェアプレイなど大会出場チームの中で最も“印象に残った”チームを全選手の投票で決める賞です。ダノンネーションズカップ in JAPAN における、いわば「最も記憶に残る」チームに贈られる称号です。



予選リーグ

A	チーム名	川崎フロンターレU-12	フアナティコス	府中新町FC	ヴァンフォーレ甲府U-12	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
A 1	川崎フロンターレU-12(Jリーグ・シード)		3 ○ 1	2 ○ 0	2 ○ 1	3 勝 0 分 0 敗	9	7	2	5	1
A 2	フアナティコス(群馬県・シード)	1 ● 3		1 △ 1	0 △ 0	0 勝 2 分 1 敗	2	2	4	-2	2
A 3	府中新町FC(東京都・大阪予選ベスト4)	0 ● 2	1 △ 1		0 △ 0	0 勝 2 分 1 敗	2	1	3	-2	3
A 4	ヴァンフォーレ甲府U-12(山梨県・愛知予選ベスト4)	1 ● 2	0 △ 0	0 △ 0		0 勝 2 分 1 敗	2	1	2	-1	4

B	チーム名	ヴィッセル神戸U-12	大阪セントラルFC	STAYCOOL FC	パディーSC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
B 1	ヴィッセル神戸U-12(Jリーグ・シード)		3 ○ 1	4 ○ 0	0 ● 1	2 勝 0 分 1 敗	6	7	2	5	2
B 2	大阪セントラルFC(大阪府・シード)	1 ● 3		1 ○ 0	1 ● 3	1 勝 0 分 2 敗	3	3	6	-3	3
B 3	STAYCOOL FC(大阪府・大阪予選ベスト4)	0 ● 4	0 ● 1		0 ● 1	0 勝 0 分 3 敗	0	0	6	-6	4
B 4	パディーSC(神奈川県・東京予選ベスト4)	1 ○ 0	3 ○ 1	1 ○ 0		3 勝 0 分 0 敗	9	5	1	4	1

C	チーム名	サンフレッチェ広島F.C.ジュニア(Jリーグ・シード)	東京ヴェルディ	コンサドーレ札幌U-12	ISE YAMATO FC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
C 1	サンフレッチェ広島F.C.ジュニア(Jリーグ・シード)		0 ● 1	0 ● 1	0 ● 1	0 勝 0 分 3 敗	0	0	3	-3	4
C 2	東京ヴェルディ(Jリーグ・シード)	1 ○ 0		1 ○ 0	2 ○ 1	3 勝 0 分 0 敗	9	4	1	3	1
C 3	コンサドーレ札幌U-12(Jリーグ・シード)	1 ○ 0	0 ● 1		0 △ 0	1 勝 1 分 1 敗	4	1	1	0	3
C 4	ISE YAMATO FC(J三重県・愛知予選ベスト4)	1 ○ 0	1 ● 2	0 △ 0		1 勝 1 分 1 敗	4	2	2	0	2

D	チーム名	柏レイゾルU-12	横浜F・マリノスプライマリー	鹿島アントラーズジュニア	横浜FCユース	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D 1	柏レイゾルU-12(Jリーグ・シード)		0 △ 0	0 ● 1	1 ○ 0	1 勝 1 分 1 敗	4	1	1	0	3
D 2	横浜F・マリノスプライマリー(Jリーグ・シード)	0 △ 0		0 ● 3	0 ● 1	0 勝 1 分 2 敗	1	0	4	-4	4
D 3	鹿島アントラーズジュニア(Jリーグ・シード)	1 ○ 0	3 ○ 0		0 ● 2	2 勝 0 分 1 敗	6	4	2	2	2
D 4	横浜FCユース(東京都・東京予選ベスト4)	0 ● 1	1 ○ 0	2 ○ 0		2 勝 0 分 1 敗	6	3	1	2	1

E	チーム名	ディアブロサ高田FC	名古屋グランパスU12	サガン鳥巣U-12	レジスタFC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
E 1	ディアブロサ高田FC(奈良県・シード)		0 △ 0	6 ○ 0	0 ● 1	1 勝 1 分 1 敗	4	6	1	5	3
E 2	名古屋グランパスU12(Jリーグ・シード)	0 △ 0		7 ○ 0	1 △ 1	1 勝 2 分 0 敗	5	8	1	7	2
E 3	サガン鳥巣U-12(大阪府・大阪予選ベスト4)	0 ● 6	0 ● 7		0 ● 6	0 勝 0 分 3 敗	0	0	19	-19	4
E 4	レジスタFC(埼玉県・愛知予選ベスト4)	1 ○ 0	1 △ 1	6 ○ 0		2 勝 1 分 0 敗	7	8	1	7	1

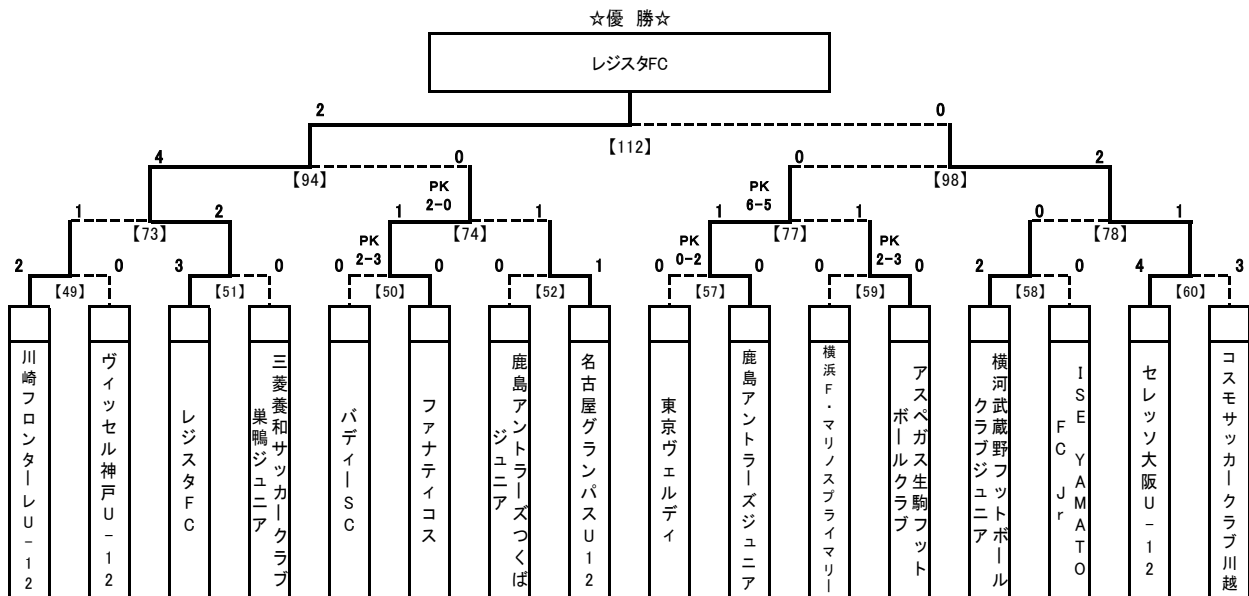
F	チーム名	三菱養和サッカークラブ(東京都・シード)	多賀城FC	大宮アルディージャユース	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位	
F 1	三菱養和サッカークラブ(東京都・シード)		2 △ 2	3 ○ 0	0 △ 0	1 勝 2 分 0 敗	5	5	2	3	2
F 2	鹿島アントラーズつくばジュニア(Jリーグ・シード)	2 △ 2		3 ○ 0	1 ○ 0	2 勝 1 分 0 敗	7	6	2	4	1
F 3	多賀城FC(宮城県・宮城予選ベスト2)	0 ● 3	0 ● 3		0 ● 3	0 勝 0 分 3 敗	0	0	9	-9	4
F 4	大宮アルディージャユース(埼玉県・東京予選ベスト4)	0 △ 0	0 ● 1	3 ○ 0		1 勝 1 分 1 敗	4	3	1	2	3

G	チーム名	横浜F・マリノスプライマリー	AVANTI茨木FC	塩釜FC	コスモサッカークラブ川越	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
G 1	横浜F・マリノスプライマリー(Jリーグ・シード)		6 ○ 0	5 ○ 0	2 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	13	0	13	1
G 2	AVANTI茨木FC(大阪府・シード)	0 ● 6		0 ● 1	0 ● 8	0 勝 0 分 3 敗	0	0	15	-15	4
G 3	塩釜FC(宮城県・宮城予選ベスト2)	0 ● 5	1 ○ 0		0 ● 2	1 勝 0 分 2 敗	3	1	7	-6	3
G 4	コスモサッカークラブ川越(埼玉県・東京予選ベスト4)	0 ● 2	2 ○ 0	2 ○ 0		2 勝 0 分 1 敗	6	10	2	8	2

H	チーム名	IFC川越水上公園	セレッソ大阪U-12	フアベスサッカー倶楽部	Uスポーツクラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
H 1	IFC川越水上公園(埼玉県・シード)		0 ● 4	0 ● 2	0 ● 1	0 勝 0 分 3 敗	0	0	7	-7	4
H 2	セレッソ大阪U-12(Jリーグ・シード)	4 ○ 0		2 ○ 0	3 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	9	0	9	1
H 3	フアベスサッカー倶楽部(奈良県・大阪予選ベスト4)	2 ○ 0	0 ● 2		2 ○ 0	2 勝 0 分 1 敗	6	4	2	2	2
H 4	Uスポーツクラブ(山梨県・愛知予選ベスト4)	1 ○ 0	0 ● 3	0 ● 2		1 勝 0 分 2 敗	3	1	5	-4	3



決勝トーナメント/順位決定戦

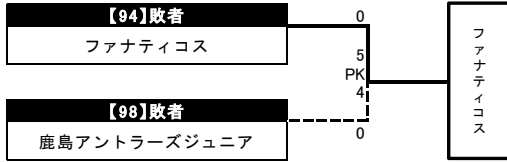


最終順位	
優勝	2位
レジスタFC	セレッソ大阪U-12
3位	4位
ファナティコス	鹿島アントラーズジュニア
5位	6位
名古屋グランパスU12	横河武蔵野フットボールクラブジュニア
7位	8位
川崎フロンターレU-12	アスペガス生駒フットボールクラブ
9位	10位
ヴィッセル神戸U-12	横浜F・マリノスプライマリー
11位	12位
コスモサッカークラブ川越	バディーSC
13位	14位
東京ヴェルディ	三菱養和サッカークラブ巣鴨ジュニア
15位	16位
鹿島アントラーズつくばジュニア	ISE YAMATO FC Jr
17位	18位
柏レイソルU-12	大阪セントラルFC
19位	20位
府中新町FC	塩釜FC
21位	22位
USスポーツクラブ	ディアブロッサ高田FC
23位	24位
大宮アルディージャジュニア	コンサドーレ札幌U-12
25位	26位
横浜F・マリノスプライマリー追浜	ヴァンフォーレ甲府U-12
27位	28位
STAYCOOL FC	サンフレッチェ広島F.Cジュニア
29位	30位
1FC川越水上公園	サザンウェイブ泉州フットボールクラブ
31位	32位
多賀城FC	AVANTI茨木FC

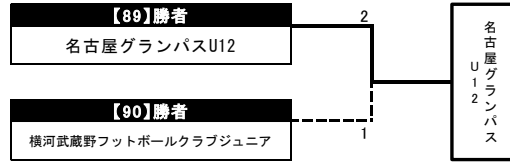


順位決定戦

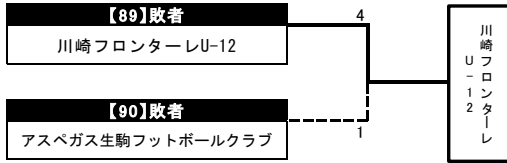
【3位決定戦】



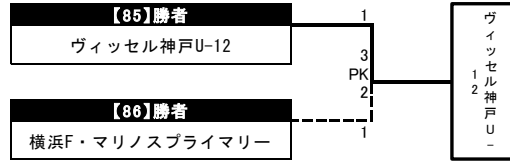
【5位決定戦】



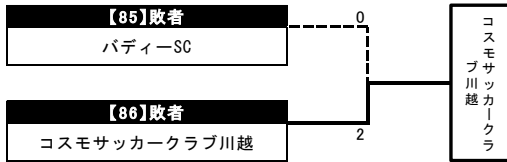
【7位決定戦】



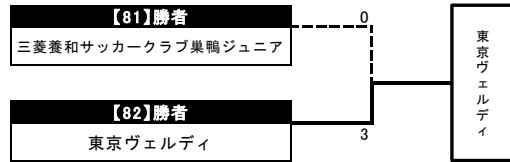
【9位決定戦】



【11位決定戦】



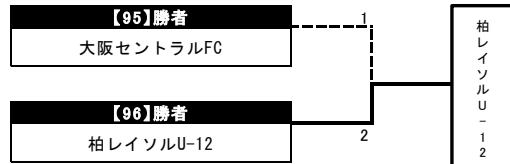
【13位決定戦】



【15位決定戦】



【17位決定戦】



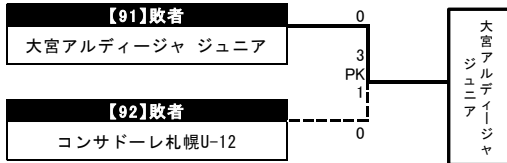
【19位決定戦】



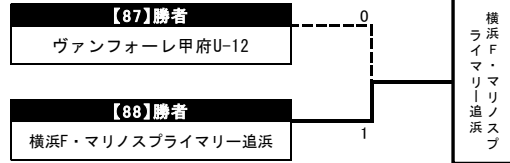
【21位決定戦】



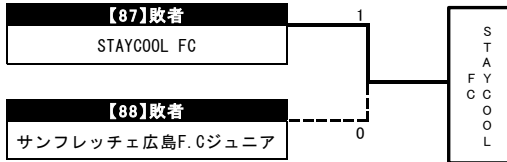
【23位決定戦】



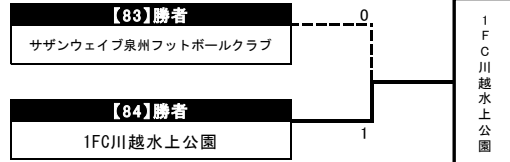
【25位決定戦】



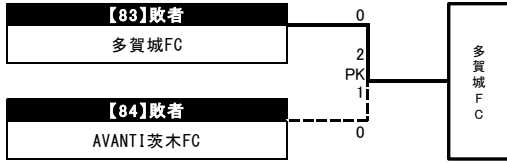
【27位決定戦】



【29位決定戦】



【31位決定戦】





ダノンネーションズカップについて

2000年から開催している FIFA 公認の U-12 サッカー世界大会であり、元フランス代表のジダン氏が大会のアンバサダーを務めています。現在は世界 40 カ国で予選を行い、250 万人以上の少年・少女が参加しています。2012 年の日本大会では、東京・愛知・大阪の 3 カ所で予選を行い、今秋ポーランドで行われる第 13 回世界大会に出場する日本の代表チームを決定します。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」ホームページ (<http://www.danonecup.jp>)

ダノンジャパンについて www.danone.co.jp

ダノンは、25 年以上にわたり、日本の消費者の皆様にも栄養価のあるチルド乳製品をお届けしています。今日では、「ダノンビオ」、「ダノンデンシア」、「プチダノン」、「ベビーダノン」、「ダノンヨーグルト」の製品を取り揃え、おいしさだけでなく、ヘルシーな食品をお届けしています。

ダノングループについて www.danone.com

ダノングループは、フォーチュン 500 に数えられ、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、食品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。この使命を達成していくことが、ダノングループの継続的な力強い成長の原動力となっています。現在、全世界において五大洲 120 カ国以上で事業を展開しており、約 8 万人の従業員を擁し、約 160 の工場があります。2011 年度売上 193 億ユーロを誇り、チルド乳製品(世界第1位)、ウォーター(世界第2位)、乳幼児向け食品(世界第2位)、および医療用栄養食の 4 つのビジネスを核としたヘルシーな食品をお届けする企業として確固たる地位を築いています。

Euronext Paris 上場企業。社会貢献活動としては、Dow Jones Sustainability Index STOXX and World, ASPI Eurozone、Ethibel Sustainability Index に入っています。